

ごあいさつ



皆様には平素より水沢信用金庫に対し格別のお引立てを賜り心より厚く御礼申し上げます。本年も、当金庫の経営内容をご理解頂き、安心してお取引いただけますよう、ディスクロージャー誌「水沢信用金庫の現況」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成28年度の我が国の経済は、政府が推進する成長戦略などにより、マクロでは緩やかな回復基調にありますが、その一方で、人口減少や高齢化に伴う人手不足、中国を始めとする新興国経済の減速、英国のEU離脱など欧州情勢の不安定化、トランプ米国大統領の経済政策の行方など、世界経済に不透明感が強いことから、個人消費や設備投資はいまひとつ力強さを欠き、依然として景気の足踏み状態が続いております。

また、当地域内の経済においても、雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しの動きがあるものの、従来からの課題である少子高齢化等の構造的要因の影響もあり、全体としては足踏み状態が続きました。

このような情勢のもと、当金庫は後掲のとおり成果を収めることができました。これもひとえに会員の皆様はじめ、お取引先各位のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

当金庫では、平成27年度からスタートさせた新たな3か年計画「しんきんスクラム強化3か年計画～独自性発揮による地域の成長と価値創生をめざして～」に基づき、「つなぐ力」を最大限に発揮し、それぞれの地域やお客様が抱える課題と真摯に向き合い、積極的な課題解決に尽力するとともに、金融仲介機能のさらなる発揮に努め、地域経済の活性化、地方創生に向けた取組みを一段と強化いたします。

また、協同組織金融機関として、その社会的使命・役割をしっかりと噛み締め、地域経済・社会を支えるとともに、リスク管理態勢の整備、経営の健全性確保に注力し、強靱な経営体質の構築に努めて参りますので、より一層のお引き立てとご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

水沢信用金庫 理事長 及川 富美人